

# 国際軍事史学会国際大会(2013年度)の日本大会開催について

## 国際軍事史学会とは

国際軍事史学会は、軍事史学が盛んな欧米諸国を主体として設立された歴史と伝統のある学会であり、本部はベルギーに置かれ、会長はベルギーのルク・デボス博士である。現在、会員は36ヶ国であり、日本の軍事学会は加入団体として登録されている。アジアからは、日本、中国、韓国が参加している。

国際軍事史学会では、毎年、各国が持ち回りで1週間の国際大会を開催しており、2002年度はアメリカ、2003年度はモロッコ、2004年度はルーマニア、2005年度はスペイン、2006年度はドイツ、2007年度は南アフリカ、2008年度はイタリアで開催された。

国際大会は、開催国の軍事史学会が主催し、歴史的イベントとして学術的な水準を保ちつつ堅実な運営を基本として実施される。国際大会のスケジュールは、4日間のセッションと1日の研修で構成される。

軍事史学会の特質から、各国とも軍隊の多大な支援があり、国防大臣等の軍高官の挨拶、軍人の会議参加、部隊研修・訓練展示・軍事博物館等研修の便宜供与を受けている。

## ドイツでの国際大会



ドイツ国防大臣挨拶



セッション



ポツダム会談会議場研修



空軍博物館での夕食会

## 日本における国際大会の開催について

日本軍事史学会は、国際軍事史学会と密接に交流しており、毎年、国際大会で研究発表を実施している。これまでの貢献が認められ、2005年度、日本は理事会のメンバーに選出された。かねてより、会員各国は、軍事史学の研究の盛んな日本において国際大会の開催を推奨しており、理事会でも「何故世界の大国日本が国際大会を開催できないのか」という意見が大勢を占めている。

以上のことから、日本軍事史学会では、「国際大会準備検討委員会」を設立して審議した結果、準備期間を勘案して2013年度を目途に日本で第39回国際大会を開催することを決定した。「国際大会準備検討委員会」では、国際大会のテーマ、会場、予算、協賛機関、支援組織等について検討したが、最も大きな問題は約3000万円にのぼる大会運営費の準備であり、関係機関、関係団体に資金の支援をお願いしているところである。

## 軍事史学会とは

軍事史学会は、軍事学に関する学術的研究を行うことを目的として、昭和40年に設立された。軍事史学会は、日本学術会議の会員であり、現在、下記の事業を行っている。

- (1) 機関誌『軍事史学』の発行(年4回)
- (2) 軍事史関係図書の刊行
- (3) 年次大会(総会、研究発表等)の開催(年1回)
- (4) 定例研究会(東京・大阪で年4回)及び講演会(年1回)の開催
- (5) 国際軍事史学会との研究交流(国際大会への参加及び研究発表)
- (6) 学術研究奨励賞の授与(優秀論文に対する表彰及び賞金の授与)
- (7) 史跡研修等



2003年 モロッコ大会



2006年 ドイツ大会

お問い合わせ先

## 軍事史学会

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544-6 錦正社内  
TEL 03(5261)2891 FAX 03(5261)2892

E-mail [info@mhsj.org](mailto:info@mhsj.org)  
URL <http://www.mhsj.org/>